

# ココティすぎとシェアキッチン スチコン体験会

supported by ホシザキ北関東株式会社

8月20日(火)、9月11日(水)に、「ココティすぎとシェアキッチン スチコン体験会」を、ホシザキ北関東株式会社の協力のもと、ココティの調理室で開催しました。スチコンとは、「スチームコンベクションオープン」の略称です。オープンにスチーム発生装置を取り付けることで熱と蒸気を使い、炒める、煮る、揚げる、炊く、茹でるなどの複数の調理が1台でできる多機能加熱調理機器です。



当日は、ナムル、照り焼きチキン、鮭のムニエル、焼きそば、カップケーキの5品を順番に調理し、試食を楽しみました。参加者からは「操作が難しそうに見えたがわかりやすかった」「料理もおいしく、特に肉の柔らかさに驚いた」と、スチコンの操作の簡単さやスチーム調理のおいしさに驚きの声寄せられました。次回のスチコン体験会は11月12日(火)に開催予定です。スチコンの使い方を実演で学べる貴重な機会ですので、調理室の利用をお考えの方はぜひご参加ください。

## コミュニティセンターからのお知らせ

### ★第41回 杉戸町文化祭 in 杉戸町コミュニティセンター

6月に「みんなの文化祭 in ココティ」を開催しましたが、今回は「第41回杉戸町文化祭」を開催します。コミュニティセンターでは土曜日の1日限定開催です。ステージ発表は11組、展示は5組、合計16組が参加。さらに、ワークショップやカフェの営業もごぞいます。当日は混雑が予想されますので、可能な限り公共交通機関のご利用をお願いいたします。

開催日：10月26日(土) / 10:00~16:00  
会場：ココティすぎと1階(杉戸町コミュニティセンター)

### ★ココティスクール受講予約受付中

10月より、ココティスクール(通称:ココスク)が開講しました。ココティすぎと広場前の「山車蔵」や杉戸宿に関する講座、地域活動や創業支援、町民企画の講座など、多彩な学習コンテンツが揃っています。ご予約は前日まで、予約サイトや電話、窓口で受け付け中。詳しくはコミュニティセンターのパンフレットやココティスクールのサイトをご覧ください。  
<https://sugitoec.machikatsu.co.jp/>

※両イベントの詳細内容は随時SNSで発信していきます。Instagram・Facebookアカウントのフォローをお願いいたします！  
(アイコン/サイト名: かんたん似顔絵くん URL:<https://charat.me/porrait/>)

## コミセンからこんにちは ~スタッフコメント~



今月の担当者  
中村

こんにちは、スタッフの中村です。ココティがオープンして半年が経ちました。たくさんの方にご利用いただき嬉しいです。多目的室の利用はインターネット予約が便利でオススメです。ぜひお試しください。

## 杉戸町コミュニティセンター

〒345-0036  
埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸3丁目9番10号  
TEL: 0480-53-7400  
Eメール: [sugito.community@machikatsu.co.jp](mailto:sugito.community@machikatsu.co.jp)  
開館時間: 午前9時~午後9時30分  
休館日: 年末年始(12月29日~翌1月3日)

ホームページや各種SNSもぜひご覧ください!



Instagram



Facebook



ホームページ



ココスク講座  
予約サイト

# すぎとNEWS

杉戸町コミュニティセンター情報誌

## 災害時のコミュニティセンター 楽しく学んだ防災フェスティバル

みんなで楽しく学ぼう!

# 防 災 特 集

コミセン団体紹介 ナ・ペア・ナニ

イベントレポート ココティすぎとシェアキッチン スチコン体験会

### すぎとNews とは?

すぎとニュースとは、杉戸町コミュニティセンターの情報誌で毎月1回発行します。内容は、センターで活動している団体や、まちのキーパーソンの紹介、センターや町が主催のイベント情報などを予定しております。PRしたいことなどございましたらぜひ情報をお寄せください!

# 災害時のコミュニティセンター

杉戸町では災害時に避難所が開設されます。コミュニティセンターもその一つです。今回は杉戸町役場危機管理課の渡邊さんと伏見さんに、災害時のコミュニティセンターの役割についてうかがいました。

**渡邊:**「ココティすぎと」は、1階のコミュニティセンターと2階の子育て支援センター「たんぼぼ」の両方が、指定緊急避難場所になっています。一時的に避難するための場所で、長くても3日間ほどの滞在が想定されている避難所です。

**伏見:**私は8月の台風の時、実際に避難所が開設された際に同行しました。このときは自主避難でしたが、「自宅で一人では不安なので避難しました」という方がいらっしゃいました。幸い大きな被害はありませんでしたが、少しでも避難場所が皆さんの安心につながればと思います。

**渡邊:**とはいえ、洪水の恐れがあるときは、1階のコミュニティセンターは使用できません。そのため、2階の「たんぼぼ」が避難場所となります。

**伏見:**コミュニティセンターや「たんぼぼ」が避難場所として指定されていることを知っている方も多いかと思いますが、実際に開設されているかどうかは、町のホームページなどでご確認くださいと安心です。

**渡邊:**防災対策は「やらなければ」と思うと難しく感じるかもしれませんが、日常の中で無理なく



渡邊さん(左)と伏見さん(右)。防災フェスティバルでは、災害時の食事の仕方や緊急時に必要なものなど、災害対策の大切さを伝えていました。

取り入れていただければと思います。例えば、大雨が降ったらニュースを確認する、地震があったら避難場所を確認するなど、少しの習慣で安心につながります。また、備蓄も生活の一部として進めていただければ、いざというときの備えになります。無理のない範囲で始めてほしいですね。

杉戸町の災害対策や危機管理課のお話はまだまだ盛りたくさん。「すぎとNEWS」と連動し「すぎとまち情報サイト」に掲載しています。ぜひご覧ください。

URL: <https://sugitoci.machikatsu.co.jp/>



すぎとまち情報サイト



防災フェスティバルでは、プライバシーの確保ができるパーテーション①や簡易トイレ②、自動で排泄物を密封するラップ式トイレ③、炊き出し用のかまどベンチ④などが展示され、参加者の関心を集めていました。

コミセン団体紹介

## ナ・プア・ナニ

「フラダンスで楽しく健康生活」



**Q: 活動年数は何年ですか?**

**A:** 約20年前に旧中央公民館で活動を始めました。

**Q: 設立のきっかけは?**

**A:** フラダンスに興味がある人が集まり、音楽に合わせてフラダンスをすることで楽しく仲間づくりができればと、サークルを設立しました。はじめはお友達同士で30人近いメンバーがおり、みんなでフラダンスの先生に頼んでサークル活動を始めました。

**Q: 団体の自慢を教えてください。**

**A:** サークルのメンバーみんな元気で仲良しです。そして、みんなフラダンスが大好きなことが自慢です。サークルメンバーの中には設立当初から20年間活動を続けている方も6、7人ほどいます。中央公民館がなくなり、コミュニティセンターができるまでの2年間も、第十区集会所で練習を続けていました。また、発表会に向けて年に2曲の新曲を覚えるため、活動は頭の体操にもなります。

**Q: 今後の目標はありますか?**

**A:** 毎年、杉戸町の秋の文化祭と、東京・吉祥寺の発表会に出演しています。発表会では、みんなで楽しくフラダンスの発表をしたいです。そして、皆さんの笑顔を見たいです。

新規メンバーを募集しています。見学希望の方はコミュニティセンターまでご連絡ください。

活動人数: 女性 15名  
活動内容: 週1回、フラダンスの練習  
活動日: 毎週土曜日(コミュニティセンター)



## 楽しく学んだ防災フェスティバル

9月23日(月)に「みんなで楽しく学ぼう!防災フェスティバル」を開催しました。当日は、杉戸町赤十字奉仕団によるカレーの炊き出しや、日本ボーイスカウト杉戸第1団・第2団によるローワーク体験とビニールシートテントの展示、無印良品による防災グッズ販売、さらには子ども向け消火器体験や消防服を着て消防車と写真が撮れるコスプレ体験など、様々なブースが並びました。特にカレーの炊き出しは、配食前から行列ができるほどの大盛況で、備蓄用のアルファ米が使われていましたが、普通のお米と変わらないおいしさに、食べた方々からは「おいしい」との声が多数聞かれました。大人も子どもも、防災についての体験を通じて、楽しく学ぶことができた1日でした。

